

科目名称	教育社会学（中・高）
授業コード	BN367
英語名称	
学期	2024年度後期
単位	2.0
担当教員	神谷 純子
※記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	近代の公教育制度が平等な教育の保障をめざし発展してきたのとは裏腹に、格差を可視化し固定化する学校教育の機能を多くの研究者が指摘している。教育現場が直面している子どもや若者の様々な格差は、その背景にある社会的構造を反映したものであり、格差を縮小するには構造への働きかけが不可欠である。この授業では、教育が抱える諸課題をその構造的要因に遡って批判的、分析的に読み解く視点を学ぶとともに、将来学校教育に携わる免許保持者として、現場から社会構造を見晴らし、諸課題の解決のために為しえる働きかけを具体的に考え行為につなぐ素地を培う。
科目に関連する実務経験と授業への活用	学校教員としての実務経験を踏まえて講義内容及び方法に工夫を凝らし、教育現場に根差した知識技術の修得を図る。
到達目標	・現代日本の子どもや若者に関わる社会・教育現象に関心を持ち、理解を深める。 ・教育・社会現象について疑問を持つとともに、事実に基づいて自ら検証し、具体的な方策を現場の目線で考えられるようになる。これは、学科のカリキュラムポリシーに掲げる「子どもの発達や教育の基礎を学ぶための科目（教育学基礎科目）」にあたるものである。 ・また、ディプロマポリシーに掲げる教職に求められる専門的知識を習得し、学識と技能を身につけ、様々な課題について、各領域で習得した幅広い知識をもとに、解決策を提案することができる。【基礎力・思考力】にあたり、自律的に学習に取り組む姿勢を涵養する。
計画・内容	第1回：ガイダンス：社会学とは 第2回：階層と教育① 子どもの貧困 第3回：階層と教育② 社会関係資本 第4回：階層と教育③ 学力と階層 第5回：学校のある社会：脱学校論 第6回：性差と性的役割 第7回：性的マイノリティ 第8回：労働市場へのトランジション① 労働・働き方について 第9回：労働市場へのトランジション② キャリア教育 第10回：マイノリティと教育① 障害とは 第11回：マイノリティと教育② インクルーシブ教育 第12回：グローバリゼーションと教育① 日本人論 第13回：グローバリゼーションと教育② 人種・民族・国籍 第14回：グローバリゼーションと教育③ 多文化共存 第15回：まとめ
授業の進め方	スライドを使用し講義を行う。適宜映像資料を視聴する。
能動的な学びの実施	毎回小課題の記述を課し、次の授業にフィードバックを行う。

授業時間外の学修	予習：参考図書等のもくじに目を通す（時間 45分） 復習：講義レジュメの整理・理解（時間 90分）
教科書・参考書	参考書： 酒井朗・多賀太・中村隆康編著『よくわかる教育社会学』ミネルヴァ書房，2012年。 その他、適宜授業で紹介する。
成績評価方法と基準	授業内で課す小課題（60%）、最終課題（試験）（40%）の結果を総合的に判断する。
課題等に対するフィードバック	リアクションペーパーや小課題については、随時フィードバックを行う。
オフィスアワー	Campus Square を参照
留意事項	本科目は【卒業必修】及び教員免許状取得のための【必修科目】にあたる。
非対面授業となった場合の「①授業の進め方」および「②成績評価方法と基準」	①非対面・オンライン（オンデマンド課題）学修 15回に切り替える。 Campus Squareの掲示板またはレポート提出欄に課題・動画URLを提示し、レポート提出欄から課題を提出する形式をとる。 ②平時（対面授業時）に準ずる。